

静岡 沖縄を語る会

第43号
2020年6月19日(金)
清水区西久保 300-12
富田英司
郵貯口座
静岡・沖縄を語る会
00890-1-152770

沖縄の民意を支持している関西生
コンの労組、不当逮捕と長期拘留
が続いていましたが、武委員長と
湯川副委員長が約六〇日ぶりに
保釈されました。

目次

本土復帰から48年	2~3
辺野古の砂杭	4~5
金治明沖縄スケッチ	6~8
コロナ禍の私権制限	9~11
新型コロナウイルスが人間社会に問うているもの	12~14
朝ドラに軍歌の神様	15
新沖縄探歩(3)	16

新型コロナで自粛が広がるなかでも

玉城与党、過半数



25議席
県議選
新基

48議席を争った沖縄県議選は7日(日)に投・開票され玉城デニー知事与党が25議席を確保、過半数を維持しました。その中には故翁長知事の次男で那覇市議員だった翁長雄治(たけはる)さんもいます。世襲議員については我が国総理など、ポンコツもありますが、雄治さんは若者たちと県民投票キャンペーンを担った人です。

玉城野党は自民党が13から17へと増やし、無所属も含めて19議席。それ以外の4人は中間派です。

辺野古については反対が圧倒

中間派の何人かは「辺野古反対」としてるので、辺野古に関しては反対が27に対し推進19となります。

今回の選挙は名護、石垣、うるま、浦添の4つの選挙区で無投票当選。

当日有権者数は87万2906人。投票率は前回(2016年)を6.35ポイント下回る46.96%で、過去最低。

新型コロナにより様々な選挙で、投票の低迷、安倍政権への批判が票として現れない中で、玉城与党は「善戦」と言えます。

政府は姿勢変えず

翌日、菅官房長官は「(自民が擁立した候補が)辺野古移設容認を掲げて戦った中で(議席を増やしたということは)、地元でかなり理解が進んでいるのではないかと思う」と述べたそうです。

辺野古工事再開を許さない

さらに関係業務の作業員に新型コロナウイルスの感染者が出て、止めていた新基地建設工事の再開時期については「受注者や米軍の間で現場の調整を行い、沖縄防衛局が適切に判断をする」と説明。環境が整い次第、再開する方針を示したのです。

沖縄
タイムス
OKINAWA TIMES

2020年6月8日月曜日
(令和2年) [旧暦4月17日・友引]
発行所 那覇市久茂地2丁目2番2号 沖縄タイムス社
社務部 那覇中央郵便局295号の沖縄タイムス社 2000号
代表電話 (098) 860-3000
読者センター 読者・配達の問題は
(098) 860-3663 編集・配達の問い合わせは
0120-21-9674

豊かな水資源 それ自然との調和
地球建設工業
http://www.ryusui-k.com
県関係の新型コロナウイルス感染状況

前号で総会の延期をお知らせしましたが、開催のため、9月12日(土)とりあえず会場を確保しました。詳細等はニュース次号(8月6日発行予定で)お知らせします。

沖縄の本土復帰から 48 年、本土の課題とは

富田英司（静岡・沖縄を語る会共同代表）

5月15日は、沖縄の「本土復帰記念日」である。

コロナで初めて平和行進中止

毎年、この5月15日に合わせて全国からの海外からの参加者を含めて「5.15平和行進」と「県民大会」が取り組まれてきた。しかし、今年はコロナウイルス感染拡大の影響で初めて中止となった。私も現役時代から、何度もこの「5.15平和行進」「県民大会」に参加してきたので、中止はとても残念である。

この「沖縄の本土復帰」に関して、沖縄の知人から次の様な報告が届いた。

『1972 年の沖縄返還、沖縄の本土復帰から48年となる。米軍政下の四半世紀の倍近い期間、沖縄の復帰後が経過したことになる。

この48年間で、沖縄は変わったこともあり、変わらなかったこともある。人口は 1972 年の96万人から145万人に増えた。平均すると1年に1万人増えた計算だ。

基地・土木・観光…沖縄経済

観光客は55万人から 1,000 万人時代へと約20倍近く拡大した。県経済の軍事基地依存度は、約15%から5%に低下したが、近年また6%程度に上昇しているという。辺野古新基地建設のためだが、沖縄防衛局の工事の50%以上が本土企業で県外に流れる構造になっている。1人当たり県民所得、失業率、高校大学進学率などは依然として全国最下位近くから抜け出ることができない。

沖縄がダントツで全国一が2つある。1つは出生率である。大分下がって来ているが、2018 年で



1.89 はやはり全国一であり、社会の健全な在り方の1つの指標と言ってよいだろう。

基地負担軽減のウソ

もう1つは米軍専用施設であり、多くの人は意外に感じるだろうが、復帰時の58.7%から70.3%に拡大した。

米軍の再編過程で、沖縄基地の日本全国での比重はかえって増えたことになる。負担軽減とは何か。政治の嘘を示す言葉だ。

米陸・海・空・海兵隊の4軍の軍人・軍属・家族合わせて5万人が、米軍基地内外に、住民登録なしに暮らし、事件事故、犯罪、騒音、環境汚染を生み出し続けている。復帰後48年の間に、米軍機・ヘリコプターの墜落事故は1年に1回の割合で発生している。何時どこに落ちるかかわからないが、海上、山中、大学、海岸などに落ちた。必ずどこかに落ちる。こんなに危険なことではない。

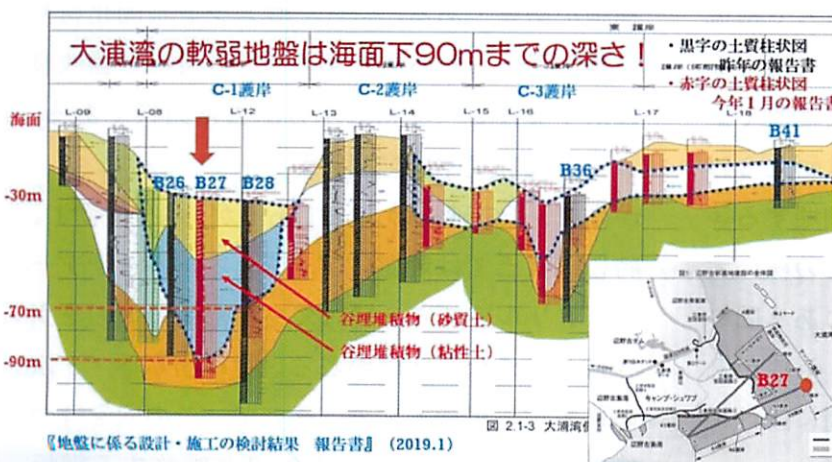
米軍の犯罪は復帰後 6,000 件以上にのぼる。普天間基地と嘉手納基地からの騒音や有害物質の流出はとどまることがない。その上に日本政府は与那国、石垣、宮古、沖縄、奄美での自衛隊基地建設を住民の反対を押し切って強行している。

復帰後 48 年になるにもかかわらず、こうした沖縄の現状は、沖縄を軍事利用する日本の政治の貧困・墮落を示すものに他ならない。沖縄は中央政府の道具ではない。沖縄をこうした状態にしている日本の政治を変えなければならない。変える事の出来る権限も責任も日本国民にある。5.15の復帰記念日を機に、沖縄県民に寄り添い、県民ぐるみの要望を実現する日本政府をつくる道筋を考えよう。その様な日本政府とは沖縄県民との連合政府でなければならない。そうでなければ、人口で全国の1%余りにしかない沖縄は必ず少数派になる運命にある。

復帰を望んだ日本への期待

多くの沖縄県民は日本がもっとまじな、まともな国だと考えていたのだ。なぜなら、戦争放棄と国民主権、地方自治と民主主義の平和憲法を持っている、世界でもまれな国なのだから。ところが、うわべとは違ってその内実は、虫食い状態。日本は逆に、平和と人権をむしろむしばむ国家になっていた。』

沖縄の皆さんは「72年の沖縄返還で、ようやく本土に復帰できる」と大きな期待を寄せていた。しかし、その後の経過は「沖縄は日本に期待しすぎて裏切られた」との思いが続いている。



大浦湾の軟弱地盤＞肝心の B27 地点で地盤の強度

沖縄民意無視し続ける日本政府

昨年2月の県民投票の辺野古新基地のための埋立てに関する賛否について、投票率約 52%で、賛成が約19%、反対が約72%、どちらでもないが約9%であった。7割以上の県民が辺野古新基地建設にNOを突き付けた。ところが、日本政府・防衛局はこの県民投票の結果をまったく無視して、開票日の翌日も埋立て工事を強行した。

大浦湾での海底調査が進む中で、大浦湾の「軟弱地盤」の存在(特に、B27地点)が明らかになった。大浦湾の一番深い、このB27地点は海面下90mまで谷埋堆積土(粘性土)が続いていることが判明。土木関係学識者の皆さんは「こんな深い90mの埋立工事は不可能である」と指摘している。

失敗見えても突き進む日本政府

ところが、政府・防衛局は「海面下70m以深は地盤改良の必要はない」と主張。なぜなら、今までの埋立て工事の作業船は深さ70mまでしかやった事がない。

このように大浦湾の埋立工事は完全に行き詰まっている。ところが、安倍政権はこうした事実を無

視し、大浦湾の埋立て工事を強引に押し進めようとしている。

沖縄の知人の「沖縄をこうした状態にしている日本の政治を変えなければならない。変える事の出来る権限も責任も日本国民にある」「県民ぐるみの要望を実現する日本政府とは沖縄県民との連合政府でなければならない」との指摘を受けとめ、本土の私たちはそれに答えていく義務と実行力が問われている。

辺野古軟弱地盤の対策だけで 10 年の根拠

増田千次郎(静岡・沖縄を語る会 顧問)

木造建築も耐えられない軟弱地盤

防衛施設庁は辺野古軟弱地盤に対処する変更を、コロナへの対応に追われる沖縄県に提出した。琉球新報の記事に拠ると、護岸・岸壁部分(大浦湾海中 軟弱地盤部分)に岸壁の荷重を支え、尚且、地盤改良用の「砂杭」40,000本、陸地部分に地盤改良用の「砂杭」を20,000本施工する計画と言う。

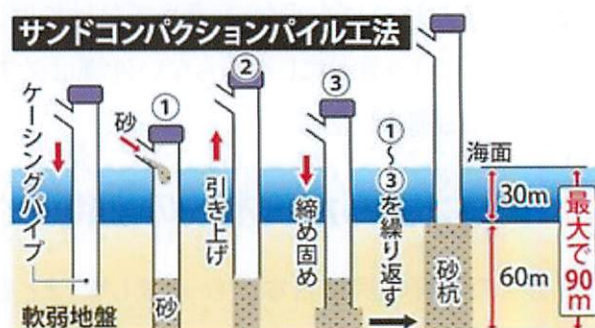
新基地の護岸は、辺野古崎から東に約600m沖合で、新護岸の中央やや南側部分は、海面から約90mまでが軟弱地盤である。又、大浦湾の奥に向かう楚久断層に沿って軟弱地盤が存在するようだ。

この付近の工事前の海底は深さ約30mで、その海底下まで岸壁を造成する。海底から約20m下方までが砂質土、その下の約40mが粘性土であり、両者共に耐力ない軟弱地盤なのだ。地盤軟弱の程度は、海面から30~70mの海底地盤は地盤強度を示すN値1~4で、70~90mはN値4~9である(防衛省公表の地質調査値)。つまり、N値1~5の地盤では木造住宅でも支えられない程の不良地盤である。

建造物(=人が入る建築と防波堤や橋等の土木物を合せた語彙)は、建物の自重と建物に架かる荷重(=風や雪・雨、それに乗る人や機械の荷重、地震力)を支える為に、それに耐える地盤に載せる必要がある。もし、不良地盤で上記の荷重等に耐えなければ、建造物は耐えられる地盤まで沈下し、地震時に傾く、倒壊する等の結果となる。しかし、今回の辺野古の様に大浦湾海中に築く護岸では、海底深くにある固い地盤まで前記の建造物荷重を伝える必要があり、建造物基礎と海底の固い地盤の間に設けて建物荷重等を伝えるのが「杭」である。

一方、文初頭に記述した様に、地盤改良用のみ利用される「砂杭」があり、これは砂を圧密した杭を不良地盤に施工し、圧密で不良地盤の水分を押出して地盤密度を上げる工法がある。圧密された水分は砂杭に吸収され、この水分を抜き取る工法もある。

砂杭による工法とは



当然、杭が必要だし、軟弱地盤改良用の杭も必要である。まず、海面から30m下の海底から約90m下方の軟弱地盤までの深さ約60mの地盤を砂杭で地盤改良する。が、かなり長い杭で、杭に載る岸壁の自重(岸壁長1m当り約50トン)も重く、施工機械の能力から推測して杭自体の補強が必要で、廻りに土があるが、直径1mで長さ60mの砂の円筒が横揺れの地震波や液状化した廻りの地盤移動で破損する事は充分想定可能で、砂の筒状態を維持する為、何らかの補強が必要である。恐らくセメント系固化材や鉄等が用いられるのであろう。砂杭の地盤改良に対する役目=圧密と水分除去は同様である。

砂杭の作業工程は

さて、この砂杭の工法であるが、水分を含む、特に砂質土では地盤にアース・オーガーやアース・ドリル等で穴を開けても、機械の掘刃を引き抜く矢先から穴は潰れる。更に出水等で、次の作業が不可能となる。そこで、この穴を穿つ機械を囲むようにケーシングと呼称する鋼板製筒(直径=0.8~1.2m)を穴に設置し、中を

機械で掘りながら筒を落込んで穴の崩落を防ぎ、水を抜きながら穴全長を掘る。土砂を掘る機械に拠って土砂の搬出方法は異なる。

オペレーターは高い技能が必要

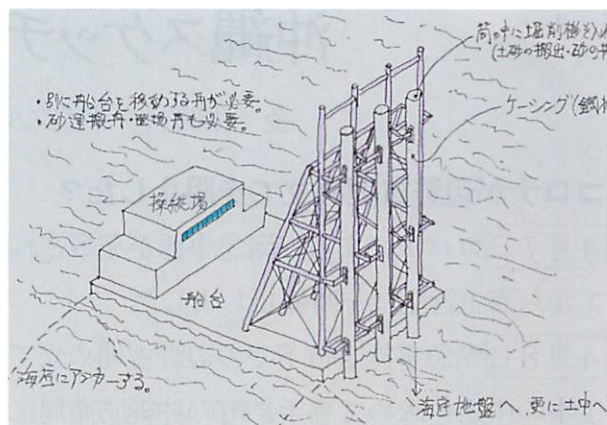
杭先の出水が多い例では、圧縮空気を送り込んで出水を押さえながら穴を穿つ事もある。穴掘機の先端も様々であるが、どの機械も穴掘り時に掛る「掘る力」の強弱で、地盤の固さを確認可能で、機械操作者がこれを確認して、杭の深さを決定する。その次に砂入れて、砂に圧を加えながら落込んで地盤を補強し、同時に杭補強を施しながらケーシングを抜いてゆく。砂を固める工程で、2機能を有する「砂杭」は、別の工程が組まれている。この工法ではケーシング先端でより圧を砂に加える事で、砂は圧密されながらケーシング（径約1m）廻りの地盤に広がり、砂杭径1.5~2mほど太く強固になる。この作業は更に大きな圧を砂に付加する為に少量ずつ施工され、工程は緩慢に進行する。

経験のない深さ90メートル

これからが問題で、穴の長さは60mであるが、機械は海面に浮かぶ船上にあり、穴掘り機の作業工程は90m必要である。90mのケーシングを船上に立て、この中に穴掘機械を設置し、これ等の上下で加圧し、最後引き抜く際に、最大90mまで筒を上げる事が求められる。しかし日本では、関西空港工事で海面下70mまでの杭施工実績があり、そこで使用した工事船もある、と聞く。が、全長70~90mの杭施工可能な工事船が無ければ、杭は岩盤に届かず、その杭は役に立たない。船上に90mの鋼管を組む為の専用船の造船も必要で、更なる工事費増額を意味する。防衛施設庁は海面下90mの地盤は圧密されて良質で、現在の機械で充分と言う。但し、良質根拠となるデーター等は示していない。

6万本÷1日20本÷10年

この機械いや、この船が数隻あれば同時進行が可能で、工事日数縮小が可能だが、斯様な特



殊機械等が通常は不用で、あっても10~20隻であろう。単純なクレーンでも100~200トン用は国内に30台程度と聞く。勿論機械や船の操縦者も限られるし、彼等の労働条件を考慮すれば1年300日可動辺りであろう。工事期間10年、3000日で60,000本を割れば20本/日で、斯様な工事工程が可能か疑問を持つ。しかし、日本の同工事可能な数社の会社案内には、200本/週の施工例(杭長が不明)が紹介され、1隻に3組(サンドドレイン用では6組)の砂杭設置機械(杭長不明、又、同時使用が不明)が据えられているので、20~30本/日の可能性も考慮される。いずれにせよ、杭工事に拠って工事期間が大幅に延長され、工事費増額となる所以である。

最後に金属スラグを砂杭の砂の代替えに、と聞くが、これは金属精錬の際に残る岩石クズで、日本では鉄製錬の際に多量に出る。この中に鉄以外のクロム等の毒性のある粉状金属が含まれ、地盤改良で砂杭に集めた水分を抜く際に、それらを含んだ水は、恐らく海中に捨てられるだろう。豊洲市場の敷地から6価クロムが検出され問題化した事を記憶しているだろう。しかし、スラグは道路舗装や肥料として利用されていて、防衛施設庁とその専門家は、危険性を否定するであろう。福島汚染水のトリチウムと同様である。又、スラグ内のカルシウムとセメント固化材は水中に溶けて強アルカリ性を示し、生物である珊瑚を痛める事は明白である。

沖縄スケッチ ヤンバル便り

金 治明（リサイクルショップ ジュゴンの海/名護市在住 16 年）

コロナが辺野古埋め立てを阻止した？

4月7日「コロナによる」緊急事態が発令されてから海上行動は一時停止しました。

4月8日緊急事態宣言下での辺野古埋め立て工事の中止を求めて嘉手納町の沖縄防衛局に行きました。要請行動は部屋では三密が守られないので窓を開け通路で距離を置いて限られた人数反対協仲本事務局長、カヌー隊、船長等5名でした。そして①民意に反し税金の浪費である辺野古新基地工事を直ちに中止すること。②警備員の命を守るためにもマスクを支給することを申し入れました。

対応した梅谷晋平計画課長補佐は、「普天間飛行場の危険性除去のため辺野古移設は急務。工事は中止しない」と一点張りで発展的な議論は出来ませんでした。防衛局正門前では、緊急事態、税金の浪費をやメテ、コロナ対策に、辺野古基地建設を直ちに中止せよ！の横断幕掲げ 20 数名で集会を開き、終了後解散しました。私達は工事が続行されているの

4月9日終日辺野古埋め立て阻止行動。

4月10日金曜日なのでカヌー11艇を西海岸の本部半島安和栈橋に停泊しているガット船栄雄丸（ダンプ約 380 台積載）の出航を止める為に栈橋付近にカヌーを縛りつけました。もう一班は遊撃隊になり縛り付けたカヌーの仲間が全員海上保安官（以下海保）拘束されてから栈橋の下の入出航を遅らせる組と沖合いの航路付近に待機して抗議し船の出航、入港を阻む行動をしました。

通常、カヌー縛り組は 45～60 分頑張り遊撃班は海保がマークしているので約 10 分程度で

が、全体で換算すれば 1 時間以上は出航を遅らせています。

因みに、月、木、土曜日は辺野古 K 8 護岸、大浦 K 9 護岸からランプ台船から積み下ろす船の出航、入港の阻止行動です。火、水、金曜日は前述した様に安和栈橋での闘いをしています。安和では時には待機時間がある時はゲート前の仲間と合流して土砂を積んだダンプの前に立ちはだかり逮捕と怪我の無いように抗議活動をします。

4月11日海上行動を中止して今後の闘いについて、緊急会議を開きました。

4月12日おりもおり、初めて名護市内からコロナウイルスの感染者が発生しました。

4月13日14日雨天で海上行動は中止にしましたが、防衛局の作業は行われました。

4月15日海上行動は中止にしましたが安和では積み込み作業はありました。

4月16日7都道府県に緊急事態発令。

4月17日感染者が埋め立て作業員に出たことが発覚しましたので、浜テント、海上行動、キャンプシュワブゲート前、安和、塩川の行動は5月の連休明けまで停止すると全体で確認しました。私達は連休明け作業が再開されたら直ちに闘いを再開する予定でしたが現場作業が停止しているので5月30日現在まで待機しています。

国がまたしても不意打ち

しかし、国、県、市からの「三密」を避け不要、不急の外出自粛を受け拡大防止に協力している最中に姑息にも沖縄防衛局は県名護市合同庁舎の土木事務所に何の連絡

も無しに始業時にこっそりと「辺野古埋め立て作業変更届け書」を持ち込みました。

私は第2次安倍権が発足した2013年3月23日を思い出しました。この日も今回同様に段ボール5ヶを抱えた男6人が現れ名乗りも、名刺も出さずにカウンターに置いてわずか、一〜二分で立ち去りました。その時の書類は「辺野古埋め立て申請書類」でした。

私達はこの様な正義のひとかけらもない安倍政権の悪行を許してはいけません。

玉城デニー知事は「埋め立て作業変更は精査して」判断すると答え、認否の期限は早くても来年に持ち越されると回答しました。

コロナ禍で海上行動、集会などが中止

県内移設に反対する県民会議、島ぐるみ会議、オール沖縄会議はキャンプ・シュワブゲート前、安和、塩川ゲート運搬車両入構阻止行動

は中止しています。ヘリ基地反対協は浜テナントを閉鎖しています。従って、月一の土曜大行動、毎週木曜日の集中行動も停止しています。海上行動も現在まで停止。しかし、埋め立て作業が開始されたら直ちに海に出ると確認し待機しています。

県内的には5・15平和大行進、6・23慰霊の日、国際反戦集会などが早々に中止になりました。

海上行動は4・25護岸工事強行3カ年を糾弾する辺野古、大浦湾の闘いを準備していましたがコロナ感染拡大防止の為に中止しました。最後に当日発表する予定だった宣言文を記載したいと思います。

少なからず埋め立て開始から3年間私達が何を考え、何を思って来たのかを伝えま

ヘリ基地反対協議会

2020・4・25宣言文 【護岸工事着手から3年】

私達は決して忘れない。3年前の4月25日のことを。その日、辺野古・大浦湾上空には多くの報道ヘリが飛んでいた。政府が辺野古新基地建設の護岸工事着工のセレモニーをはなばなく強行していたからだ。

県民の熱い信託を受けた故翁長知事が、埋め立て承認を取り消したのは2015年10月13日。工事中止に向けた打開策の模索が始まると多くの県民が期待した。しかし、その切なる思いは脆くも打ち砕かれた。翌14日、沖縄防衛局は私人として行政不服審査を請求し、同時に執行停止も申し立てた。

その後、国と県はいくつもの法的手続きに入ったため、裁判所が和解を提起。国は「今後当事者が直接話し合いなさい」という和解の本来の趣旨を顧みず、誠実な話し合いが実現することもなく護岸工事着工に及んだ。

そして、2017年4月25日。大浦湾奥部で護岸工事は始まった。政府の不誠実さと信じられない目の前の光景に、言葉を失い嗚咽する者もいた。大きな悲しみは、人々の平和な明日を涙で曇らせた。

故翁長知事の遺志を継ぎ、県民の圧倒的な支持で誕生した玉城デニー県政下でも、政府の不誠実で不合理な対応は全く変わらなかった。県による埋め立て承認撤回を、沖縄防衛局は、再び私人として行政不服審査請求し、執行停止を求めた。

数々の地方選挙においても国政選挙においても辺野古新基地建設中止を掲げた候補者が圧勝したにもかかわらず、県による撤回の執行停止処分を国交大臣が発出した翌日の2018年

11月1日、沖縄防衛局は工事を再開した。翌年2月24日のワンイシューの県民投票でも、毅然と「新基地建設反対」の民意が示された。国が私人と称し国へ権利利益の救済を求めた「自作自演の茶番」は到底許されない。

沖縄県による度重なる中止勧告に、ただの一度も従わない沖縄防衛局。そればかりか非道極まりないことに、県職員がコロナ禍から県民の命を守るべく懸命に尽力している緊急事態に、軟弱地盤に関する設計概要変更書類を、県へ提出した。

甚大な環境破壊、軟弱地盤の存在、総工費の肥大、工期の長期化（普天間飛行場の固定化）など、辺野古新基地建設を中止しなければならない理由は山積みであるが、それに対し故翁長知事も繰り返し述べていたように「沖縄に新しい基地を造る理由はひとつもない」のだ。

野生生物に生息地を攪乱しすぎた人類は、いま全世界で新たな困難に直面している。そのような中、沖縄防衛局の2月の調査で、大浦湾へジュゴンが戻っている可能性が示唆された。工事がなされていない日に限って確認されたジュゴンの声は、いったい何を訴えているのか。サンゴ移植や設計変更承認を求める前に、立ち止まり、謙虚に耳を傾けなければならない。かけがえのない自然や、人々の平和な暮らしを守るために行動してきた私達は、いま、強く、ここに宣告する。

設計概要変更申請を取り下げ、辺野古新基地は、直ちに全面中止せよ。

追記

安倍政権は辺野古、大浦湾海域の軟弱地盤、活断層、高さ制限等の対策で辺野古新基地建設は行きづまっています。そして、「埋め立て作業設計変更」を玉城知事は許可しないでしょう。不許可になれば裁判闘争は必至です。私達は陸＝各ゲート前、海上行動をコロナに負けず全国の仲間と共に連帯強化して発展させる事が求められています。各地域で頑張りましょう。

コロナ緊急事態が段階的に解除され沖縄では一か月新たな感染者はありません。オール沖縄、県民会議は5月末日をもってゲート前行動を再開する予定でした。海上行動もオール沖縄と連動して行動を準備していました。安倍政権は「辺野古隠し」で県議選をコロナ、経済、振興策を全面に押し立て44議席の過半数を取り、玉城県政に揺さぶりをかけ辺野



「リサイクルショップ・ジュゴンの海」を運営し、カヌー隊として新基地建設反対に邁進する金さんは、その闘いの歴史から『日米地位協定』改定への思いを強くしています。次号で紹介します。

古新基地建設に拍車をかける胸算用です。私達は25議席は絶対死守するつもりです。この文章が届く頃、私達はカヌーに乗って海に出ているはずです。選挙に勝っても負けても。いや、いままで選挙に勝っても、勝っても海に出ていました。私達、カヌー隊、抗議船船長のこの3年間の思いは、2020・4・25 宣言文に書かれていますので是非お汲み取りください。

「私権の制限」「自由制約」の響きに感じた恐怖

山崎ひろみ(静岡・沖縄を語る会共同代表)

世の中が強い力を求めるとき

4月の東京新聞「論壇・時評」で中島岳志氏がルーマニアの独裁的大統領、チャウシェスクについて書いていた。テーマは「権力行使待望の危うさ—自由制約の常態化に注意」というもの。1989年の東欧での革命の波がルーマニアにも押し寄せ、独裁的なチャウシェスク政権が、反旗を翻した国軍と武力衝突して倒され、熱狂と興奮の中で大統領は超法規的に処刑された。その映像は日本でも報道され、当時中学生だった中島氏も革命に熱狂し、一体感を持ったが、その後「世の中が一つの方向に向かって強い力を求めているとき、熱狂や興奮が起きているときは別の方向に目を向けることにした」と氏は述べている。

チャウシェスク大統領といえば、編集者をしてたころ、勤めていた出版社が、大統領の来日に合わせて演説集を出版することになり、何かの手違いで翻訳が遅れ、友人の通訳などに急遽頼み込んで徹夜で仕上げた記憶があるが、まさかその後独裁者として処刑されるとは当時は想像もしなかった。

緊急時、人は強い権力に頼る

革命が起きることとパンデミックは異質かもしれないが、人々が圧倒的な影響力に巻き込まれる非日常という意味では共通しているように思う。中島氏が指摘するように、未知の新型コロナが徐々に感染拡大し、政府の対応の遅れなどが露見して来ると人々は「政府は何をしている!」「早く強力な対応を!」と緊急事態宣言を待ち望むようになった。

確かに最前線の医療関係者からの「感染者を早く隔離すべき」「PCR検査を早く」と悲鳴にも似た声が上がり、その訴えにはそうだそうだと納得

し同調したが、「政府の力で早く」という言葉には抵抗感があつた。得体のしれない感染症を恐れ、国全体が不安に陥り行動の自粛という非日常がはじまった。そうした場合に、やはり人々が頼るのは国の施策、災害時の横断的な速やかな対応を強く望むのだが、半面、強い権力の行使となると、もろ手を挙げての賛成とはいかない。実際に『火事場泥棒』的事態が政府によって画策された。

強力な権力行使の危うさ

いち早く強力なロックダウン政策をとって成功したニュージーランドなどの国々に比して、日本政府の動きは鈍く、後手後手に回っている姿に、なんと無能な政権かと半ば呆れたが、ふと政府は本当に無能なのだろうか、無能なふりをしているのではないだろうか、と疑問が生じた。未知の感染症に対して、リベラルな人たちからも強力な力で政府の強い対応を望む声上がる中、閣僚らは逆に「私権の制限は慎重にしませんと」などと、したり顔で普段とは違う言い回しをし始めた。そして「憲法に緊急事態条項を入れないと」との文言が使われ始めた。緊急事態宣言でどこまでの強権を発動できるのか、こともあろうに現政権が強権を使うということで恐ろしさを感じたが、結果、能



マスコミに異常に出てくる山村知事

力がなかったのか、あるいは日本の憲法の立つためのためか、幸いにもロックダウンのような「厳しい自由の制限」には至らなくて済んだ。しかし、それでも移動の自粛などが強く求められ、大方の日本人は従順に励行した。「憲法に緊急事態条項があればもっと早急にできた…」等の言葉が抜け目なくまき散らされたが、表面上はさほどのことはなかった。もしもっと狡猾な政権なら、強権政治が定着しかねない事態になったかとふと背筋が寒くなる。こうした事態にこそ目を凝らし、常態化することに慣れてはいけなと識者は警鐘を鳴らす。現政権はこの機に乗じて、検察庁法改正案を通そうとしたが国民は許さなかった。このことは拍手喝采したい。ここで鮮明になったのは、日本に大きく欠落しているものが国民と政府との間の強い信頼関係であることだ。

メルケル首相が訴えたこと

この間、各国の首脳の中でもとりわけドイツのメルケル首相のメッセージは、ひときわ光りを放っている。人々の自由を制限することへの痛みと危うさを首相自身の体験から語る言葉には感動を呼ぶ説得力と信頼感があふれていた。

演説の中で、メルケル首相は、「今、重要なのは、ドイツ国内のウイルスの拡散スピードを緩やかにすることです。そして、その際、これが重要ですが、1つのことに賭けなければなりません。それは、公的生活を可能な限り制限することです。もちろん理性と判断力を持ってです。国は引き続き機能し、もちろん供給も引き続き確保されることになるからです。私たちはできる限り多くの経済活動を維持するつもりです。しかし、人を危険にさらす可能性のあるものすべて、個人を、また共同体を脅か



す可能性のあるものすべてを、今、減らす必要があります。人から人への感染リスクを可能な限り抑える必要があるのです。

今でもすでに制限が劇的であることは承知しています。イベント、見本市、コンサートは中止、とりあえず学校も大学も保育所も閉鎖され、遊び場での遊びも禁止です。

連邦政府と各州が合意した閉鎖措置が、私たちの生活に、そして民主主義的な自己認識にどれだけ厳しく介入するか、私は承知しています。

わが連邦共和国ではこうした制限はいまだかつてありませんでした。私は保証します。旅行および移動の自由が苦勞して勝ち取った権利であることを実感している私のようなものにとっては、このような制限は絶対的に必要な場合のみ正当化されるものです。そうしたことは民主主義社会において決して軽々しく決められるべきではなく、一時的にしかゆるされません。しかし、それは今、命を救うために不可欠なのです。

このため、国境検査の厳格化と重要な隣国数か国への入国制限令が今週初めから発効しています。」(ネットでの試訳から抜粋)と述べている。

その、信頼感こそが、日本には欠けていた最大のもの。政府そのものに対してもだが、そうした政

府を選んでいる我々の民度の問題であることは間違いない。このことこそが実は私たちの緊急事態であることを再認識すべきだと思う。

ショック・ドクトリンへの警戒

「パンデミックごときを恐れている場合ではない、政府が表現の自由や移動の自由を奪おうとしている」との警告もあるが、闇雲に感染症を恐れたり、逆に科学的根拠もなく感染症を無視することは、むしろ権力者側の思うつぼだ。こうした場合、どんな手法がとれるのか、強権発動の結果に味を占めたいいくつかの国の政府が、コロナ感染拡大防止を理由に、集会の禁止や政治活動等の規制強化、実は一党支配体制の強化が目的であるなど、コロナの脅威を利用して人々の規制強化を図ろうという例もみえてきた。

人々がショック状態や茫然自失状態から自分を取り戻し社会生活を復興させる前に、過激なまでの市場原理主義を導入し、経済改革や利益追求に猛進するというショック・ドクトリン、すなわち惨事便乗型資本主義は権力側の常套手段だという。

政府がとんでもない強権発動を狙っているときにどう向き合うか、コロナも怖い、後々の社会を支配しようとする権力の動きをしっかりキャッチしておかなければならない。政府との信頼関係がもてない今こそ考えなければならない。

パンデミックの陰で軍事化

政府との信頼関係が持てない理由は多々あるが、パンデミックの陰で、どうしても注目しておかなければならないのが、沖縄・南西諸島の軍事化だ。防衛省は、自衛隊の南西シフトとして石垣島を「防衛の空白地帯」と問題視し、ミサイル発射基地を配備することで、「攻撃による抑止力を高め、災害時の自衛隊による被災者救援などに対処し、住

民の安心安全を確保する」との名目で、警備部隊と移動型の地対空・地対艦部隊の配置計画が進められている。住民の避難計画もつくらず安心安全を確保とは？緊急事態宣言の中でも、宮古島では、移駐してきた自衛隊ミサイル部隊が密の状態ですら不要不急の軍事訓練を行い、弾薬庫予定地の建設工事が強行され、石垣島でも、ミサイル基地建設が休むことなく、急ピッチで進められていた。

メディアの役割も監視しないと

こうした事態を、本来ならメディアが報じるはずだが、自衛隊配備について大手メディアはほとんど伝えようとしない。

むしろ、このメディアのあり方、政権との癒着の糾弾こそが先かもしれない。

緊急時には情報が遮断されるケースも起こりうる。都合の悪いことは隠ぺいする権力側の常套手段に組するようなメディアに存在価値はない。強権発動には、まず国民への十分な説明と正しい情報公開が大前提だ。あのメルケル首相のように。メディアがその道を閉ざしてはならない。政府権力の監視、批判、パイプ役こそが使命のはずだから。

冒頭紹介した中島氏の評論では、最後に「強い力の行使を求める政権批判は、一転して強権的な政権の推進力となって起動する。例外状態が常態化し、言論の自由や集会・結社の自由が制約されるようになる。熱狂が起きているときほど注意が必要だ」と結んでいる。私たちは、「多少不自由だがこんな事態だからやむなし」と、現在の状態に慣れていきがちだが、気がつくどゆでガエル状態だったり、戦時中の国防婦人に変貌していた、なんてことがないように、権力の監視とメディアの監視を怠らないようにしたいと思う。

「新型コロナウイルスが人間社会に問うているもの」

—人間中心の国際社会か武力紛争・監視社会か—

渡辺幸重（静岡・沖縄を語る会会員）

辺野古工事区域内で

ジュゴンの鳴き声を確認

辺野古新基地建設工事は4月16日に工事関係業者の男性が新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に罹ってから2ヶ月近く中断されたままになっています。ブログ「チョイさんの沖縄日記（辺野古や高江の問題等に関する日々の備忘録）」（<https://blog.goo.ne.jp/chuy>）を見ていたら、6月6日の項で「土砂海上搬送を再開してはならない！ — 防衛局はせっかく大浦湾に戻ったジュゴンを追い払おうとしている！」という記事に出くわしました。辺野古工事区域内でジュゴンの鳴き声を確認されたということです。

・本年2月11日、23日、24日の3日間、計11回にわたって工事施工区域内の K4 地点でジュゴンの鳴音が確認された（いずれも工事がない日）。

・3月6日、9日、13日、25日、29日の5日間、計23回にわたって同地点でジュゴンの鳴音が確認されたと報告された。このうち、6日、25日は工事実施日であったという。

以上は3月末までのジュゴンの確認状況ですが、工事中断中のジュゴンの行動が注目されます。

沖縄県は4月17日に防衛局に対して、「事業を停止して、ジュゴンの来遊状況や生息環境等を改めて確認する等、事業によるジュゴンへの影響を再評価すること」「再評価の後、ジュゴンの保護策について沖縄県等関係機関との協議が終了するまでの間、事業を再開しないこと」と



◆県が6月4日、沖縄防衛局に対し辺野古での工事がジュゴンに与える影響を再評価するため防衛局に辺野古工事停止を求める文書発出（QAB 琉球朝日放送 6月4日 編集：大石）

いう行政指導を行いました。

その後も「事業による影響を再評価することなく工事を再開することは、絶滅が危惧されるジュゴンを保護する機会が失われる可能性があり、危惧している」として、5項目の質問を行いました（回答期限：6月11日）。

新型コロナウイルス騒動の中で、経済活動が低下したために世界のあちこちで自然度が上がったという報告が次々に出ています。いかに人間の活動が地球に悪いことをしているか身につまされる思いです。

辺野古建設費など軍事費を削って 新型コロナウイルス対策を

新基地建設問題を考える辺野古有志の会とティダの会は国・防衛省（沖縄防衛局）に対し、辺野古新基地建設を中止し、予算を新型コロナウイルス感染症防止対策や医療、福祉などに回すよう求める要請書を提出しました。「莫大な予算をかけて完成の見通しも危うい新たな米軍基地を造る経済的余裕はもはやない」と批判し、

新型コロナ対策に回すよう訴えています。全国的にも軍事費を減らし、新型コロナ対策や国民の生活のために回すことを求める声が高まっています。

辺野古埋め立てやり直しなら

完成まで2兆5500億円

辺野古新基地建設費は昨年12月の日本政府の再試算結果では総工費が最大約9,300億円に上り、2014年時点での「少なくとも3,500億円以上」の2.7倍に膨らんでいます。これは軟弱地盤が想像以上に大規模だったためですが、沖縄県の独自試算では総事業費は2兆5,500億円に膨らみ、どこまでお金がかかるかわかりません。しかも技術的に可能かどうかさえわからないのです。国は工期を約12年と試算しましたが、県は設計変更の申請を認めない方針です。

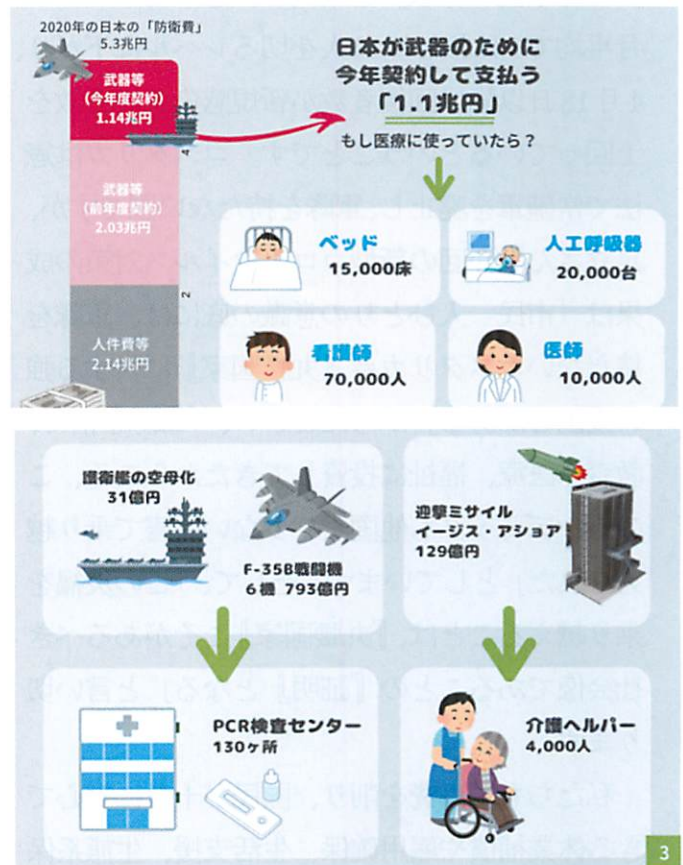
安倍政権で膨らむ「防衛費」

6年連続で過去最大を更新

一方、2020年度の日本の防衛費は5.3兆円です。前年度比1.1%増で、第二次安倍政権発足以降8年連続で増加し、6年連続で過去最大を更新しています。このうち、「物件費」が3.2兆円でこの中に戦闘機や武器の購入、艦船の建造、施設整備、研究開発、基地対策経費（「思いやり予算」を含む）、維持費が含まれます。実は物件費の1.1兆円が新規契約で、残りは昨年度以前の契約による支出ということからわかるように、今年度の契約からも来年度以降の新たな“不良ローン”（後年度負担）が発生します。

川崎哲さん（ピースボート共同代表、核兵器廃絶国際キャンペーン国際運営委員）は防衛費を新型コロナウイルス対策に振り向けることを提唱しています。防衛費の5分の1にあたる新規物件費1.1兆円があれば集中治療室のベッドを15,000床整備し、人工呼吸器を2万台そろえ、さらに看護師7万人と医師1万人の給与をまか

川崎哲さんのブログから



なうことができます。個別にみると、護衛艦「いずも」の“空母”への改修費用31億円・艦載予定のステルス戦闘機F-35B 6機分費用793億円の合計824億円で、全国にPCR検査センターを130カ所以上設置できるのです。陸上配備のミサイル迎撃システム「イージス・アショア」129億円は高齢者をケアするヘルパー4,000人分にあたります。

川崎さんは「武器や軍事のための費用を削ってコロナ対策に回す」という議論が、日本の国会でも今なされるべきではないか」と主張しています。

コロナ危機は世界を軍縮に導くか —複合的な視点と議論・実践を—

「コスタリカはなぜたったの1か月でコロナ患者を半減させられたのか？」という記事（ハーバー・ビジネス・オンライン 2020/05/17 足立力也）も目にとまりました。

中米のコスタリカ共和国はおもに「ステイホ

ーム&手洗い作戦」を展開し、感染者数が1か月平均で1日あたり10人を切るレベルに下がり、4月18日以降は回復者数が新規感染確認者数を上回っているということです。コスタリカは憲法で常備軍を廃止し、軍隊を持たない国ですが、足立さんは今回の新型コロナウイルス対策の成果は「市民一人ひとりの意識の底には、軍隊を持たないコスタリカ＝『丸腰国家』に対する強い愛国心がある」からだといい、「軍隊を捨て、教育や医療、福祉に投資してきたからこそ、このパンデミックも他国より少ない被害で乗り越えられた」としています。そして、「この災禍を乗り越えることは、『丸腰国家』こそがあるべき社会像であることの『証明』となる」と言い切ります。

私たちも軍事費を削り、国民が十分に安心できる休業補償や雇用確保、生活支援、生態系保護などの政策にお金が使われれば、自らの政府に誇りを持ち、進んで新型コロナウイルス対策の先頭に立つでしょう。顧みるに現実の安倍政権はどうでしょう。自らの行為は記録を「隠す」「改ざんする」「作らない」で隠蔽し、その行為たるや法律や倫理にもとる内容で身内に利益を流し、格差拡大に走るありさまです。あまりに国民を馬鹿にした低レベルの民主主義破壊に香港やアメリカのようなデモが起きても不思議ではありません。

先ほどの川崎さんはコロナ危機が国際安全保障のあり方に及ぼす影響を4点指摘しています。

すなわち、

- 1、軍事費も聖域ではなくなる。国民の生命と安全にとり優先されるものは何かが厳しく問われる。
- 2、「国家安全保障」よりも、地球社会と環境を意識したグローバルな人間の安全保障へとシフトする。

3、経済危機の中で格差が拡大し、国家間の武力紛争が誘発されるが、武器拡散を止める体制は不十分。

4、情報通信技術が安全保障に果たす役割が大きくなり、AI兵器、監視社会化などの問題が生じる。

ということです。

「現在のコロナ危機は、国際協調を通じた軍縮の流れを不可避免的に後押しすることが期待される反面、新たな対立と武力紛争誘発の危険性をはらみつつ、安全保障の主体や手法を大きく転換していくだろう。そうした複合的な視点を持ちつつ、現在の危機を生き延び、さらに、ポスト COVID-19 の世界における平和と軍縮を構想していくことが必要である。そのためには、狭義の軍縮・軍備管理の議論と、環境、技術、人権、社会、経済といった領域での実践を、幅広く交流させていくことが求められる」という彼の意見に耳を傾け、新型コロナウイルス問題を単なる伝染病対策ということではなく、米中対立や南北問題、そして辺野古・高江、南西諸島の軍事要塞化との関係においても（大げさに言うとも人類の文明の問題としても）考えたいと思います。（川崎哲『コロナ危機は世界を軍縮に導くか』 <https://www.psaj.org/>）

なお、南西諸島の自衛隊配備の動きや今回書いたような関連情報をWebサイト「静岡・沖縄を語る会」でも取り上げているので参考にしてください。

◎南西諸島の動き

http://erix.com/htdocs/?page_id=34

◎個人ブログ・ニュース紹介

http://erix.com/htdocs/?page_id=69

軍歌の神様がNHKの朝ドラの主人公に

♪六甲おろしに さっそうと～♪

こんにちは。阪神タイガースのファンです。随分以前ですが、大阪の梅田に2泊して3連戦を観ました。早速ブログ仲間に「私が観戦したら、3連勝しました」と書き込んだら、「勝利の女神!」と讃えられました。そのあとナゴヤドームに足を運んだら3連敗を喫しました。ナゴドはそれ以来敬遠です。今年も美術展応募作品を描きました。タイトル「虎ファンの饗宴・甲子園7回裏」。夜の甲子園の上空に黄色い風船が乱れ飛んでいる光景です。でもコロナ騒動で中止になると思いますが。

さてこれからが本題です。今放映中のNHKの連続テレビ小説「エール」の主人公こそが「六甲おろし」や高校野球の「ああ栄冠は君に輝く」の作曲家古関裕而です。そして初めて気付きました。彼は軍歌を作った人なのですね。ショックです。軍歌は幼い頃意味は分かりませんが、♪ナ～ナツボタンニサクラノヒカ～リ～♪と歌った記憶があります。以下のことは図書館で借りた本で知ったことです。

♪七つボタンは～桜に錨～♪

これは「若鷹の歌」古関裕而作曲。太平洋の制空権をかけて、海軍飛行予科練習生が時代のホープとして脚光を浴びた頃です。古関は希望して茨城県の土浦にある海軍の航空基地に一日入団をし、起床から就寝までつぶさに見学して、少年たちの軍国熱を大いにおった曲に仕上げました。それ以前には、

♪勝ってくるぞと勇ましく 誓って国を出たからは 手柄立てずに 死なうようか～♪

1937年、中国に対する全面的侵略戦争突入の直後に作られました。各新聞社がこぞって軍歌の歌詞を募集し、東京日日新聞と大阪毎日新聞(合併して毎日新聞)の入選第2位でした。当時

は、市内のレコード店からひっきりなしに流れ、出征兵士を見送る群集が必ず合唱したそうです。

♪あ～あ～の顔で あの声で～ 手柄頼むと 妻や子が～♪

「暁に祈る」は、同名の松竹の国策映画の主題歌でした。

以上彼の3曲は軍歌の3大名曲とされています。古関裕而の作曲した軍歌は何と117曲。2位の古賀政男の40曲と比べてもダントツです。

♪恨み重なる チャンチャン坊主♪

それよりずっと以前に、朝鮮半島の支配権をめぐって戦われた日清戦争に先駆けて、「日清談判」という歌が歌われています。その歌詞はこうです。

♪西郷死するも 彼がため 大久保死するも 彼がため 恨み重なる チャンチャン坊主♪

あ～恥ずかしい、申し訳ない。私は南京大虐殺記念館を観て、罪滅ぼしも込めて、中国の大学で日本語を2年間教えて来ました。でもそれ位ではあの真摯な瞳の礼儀正しい学生たちへの償いにはなりません。

NHKはこの「輝かしい」歴史的事実をどう描くつもりなのでしょう？ 安倍政権が沖縄辺野古新基地建設をゴリ押しし、南西諸島に新たな軍事拠点を築くなど、新たな戦争国家づくりを急いでいるこの時期に、何ゆえ軍歌の神様を登場させるのでしょうか？ 政府の広報機関よろしく隠ぺい・改ざん・ごまかしでスルーするのか。それとも、国を守るために戦った兵隊やそれを支えた家族を励ましたことのどこが悪いと、開き直るのでしょうか。そこを見届け無くてはいけないと思います。

2020.4.26

静岡・沖縄を語る会 大庭郁枝

新おきなわ探歩 (3) 不屈館 池ヶ谷道子

さあ、タクシーを拾って不屈館へ急いで頂こう!

私の最も尊敬していたジャーナリスト、筑紫哲也氏の愛弟子(私が勝手に決めつけているのだが)佐古忠彦氏が2度に亘って監督されたカメジローさんと向き合い、230冊以上の日記帳と格闘され丹念に読み解き、長く通われ、沖縄に心から寄り添った男の生涯と、熱気ある沖縄の戦後史を描く渾身のドキュメンタリー

『^{アメリカ}米軍が最も恐れた男カメジロー不屈の生涯』—映画パン

開館時間 午前10時～午後5時
入館は午後4時30分まで
休館 毎週火曜日と年末12月28日から年始1月3日
入館料 大人 500 円/大・高校生 300 円/中学生以下無料/障がい者と介助者1人も無料/65歳以上400 円
那覇市若狭2丁目21-5

フレットよりーの制作の拠点ともされたであろう不屈館。今、直にその不屈の生涯と向き合えると思うと胸は高鳴る。運転手さんが言った通り記念館はそう広くはない。でも内容充実。先客なし。不屈館はカメジローさんの記念館と思い込んでいたが、そんな個人的なものではない。

瀬長亀次郎と民衆資料館 沖縄の祖国復帰と平和な社会の実現をめざして命をかけて闘った、瀬長亀次郎(元衆議院議員)が残した膨大な資料を中心に、沖縄の民衆の闘いを後世に伝えようと沖縄県那覇市に設立された資料館。亀次郎の次女である内村千尋さんが館長を務める。

新型コロナによる休館は5月13日まででしたが、訪れる前に電話で確認を098-943-8374

湯本雅典監督「沖縄から学ぶ戦争の時代」に続く新作ドキュメンタリーDVD

沖縄と本土一緒に闘う

2020年4月完成 60分 2000円(税込み)

運動を担う人の姿追う

映画は緑ヶ丘保育園父母会の政府への申し入れから始まります。いわゆるネトウヨのいやがらせにあいながら子供の安全のために頑張るお母さん。

さらに湯本監督はカメラをもってイージスアショア配備に揺れる秋田にも取材に行き、イージスアショア配備反対」を掲げて参議院選挙を戦った寺田しずかさんの姿を追っています。

私たちが知っている運動ですが、私たちが知らない担っている人の姿を丁寧に描いているドキュメンタリーです。

注文は送料共で2300円を郵便貯金で「00190-2-743193 湯本雅典」に振り込めば数日でDVDが送られてきます。作品名「沖縄と本土一緒に闘う」を書いたほうが良いと思います。

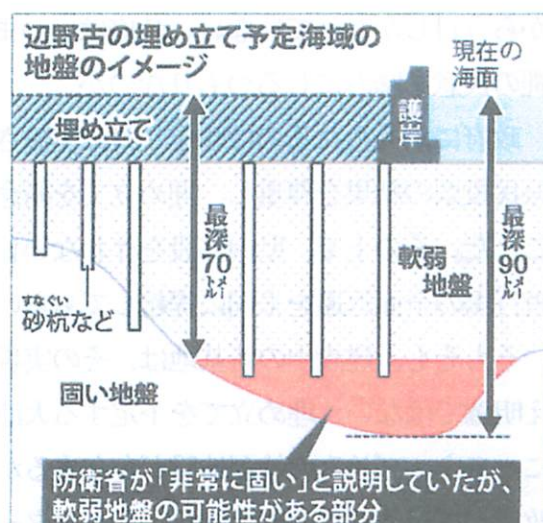


技術とコストに**合理性なし**で 地上イージス**計画停止**なら 辺野古新基地はなおさらだ

政府は新型コロナで約2か月停止していた辺野古の工事を6月12日に再開しました。5日前には、沖縄県議会議員選挙で辺野古新基地に反対する議員が過半数を維持したにもかかわらずです。

3日後、秋田と山口両県に配備を検討していたイージスアショア計画の停止を同じ政府が発表したのです。「技術的問題が判明し、改善にさらなる費用と期間が必要になる。」が理由です。

その通りです。それならば辺野古新基地などづくりに計画断念していなければならないのです。これは明確な沖縄への差別です。



コロナもお構いなしの無神経政府

辺野古の軟弱地盤の一番深いところは90メートル。これまで軟弱地盤対策は関西空港の70メートルが最高なので経験のない工事です。抜本的に高度な技術が必要なのです。

新型コロナ禍で忙しい4月21日、防衛省沖縄防衛局の職員が、沖縄県に2200ページの辺野古新基地の「設計変更の承認」を求める申請書類を提出しました。無神経すぎます。

ブースター落下は本土だけではないぞ

イージスアショア計画停止の理由はミサイルの速度のためブースターが基地の外に落下することでした。宮古島や石垣島で自衛隊が中国に向けたミサイル基地を作っていますが、地元の説明会では、言及されていません。

静岡県リニア工事で考えれば

私企業なのに「リニアは国策」というJR東海は思い上がった会社ですが、静岡工区の着工はできません。水や自然に悪い影響を与える疑いが濃いならば、自治体等当事者の許可を得るのは当然のことなのです。

静岡・沖縄を語る会 六月十九日
清水区西久保三〇〇の十二 富田方

高い
アブない
使えない
ステルス戦闘機・オスプレイ……も

辺野古で工事再開 民意いつまで踏みにじる

琉球新報社説 6月13日

名護市辺野古で政府が進めている新基地建設工事が12日から再開された。工事関係者が新型コロナウイルスに感染したため4月17日から中断していた。

建設に反対する当選者が多数を占めた県議選から5日しかたっていない。政府はいつまで沖縄の民意を踏みにじるつもりなのか。

政府に求められるのは昨年2月に実施された県民投票の結果を尊重し、埋め立てを断念することだ。その上で、県内移設を伴わない普天間飛行場の全面返還を米国に提起してもらいたい。

そもそも、建設中の新基地は、その実現性さえ明確ではない。埋め立てを予定する大浦湾側にマヨネーズ並みの軟弱地盤が存在するからだ。改良工事が必要な面積は約66・2ヘクタールに及ぶ。

砂ぐいなど約7万1千本を打ち込む難工事だ。軟弱地盤は最も深い所で海面下約90メートルに達する。総経費は9300億円で、このうち約1千億円が地盤改良の費用という。

政府は2014年の時点で総事業費を「少なくとも3500億円以上」と説明していた。かかる費用を曖昧にすることで、国民の反発を避けようとしたと考えられる。

設計変更後の「9300億円」という見積もりも額面通りには受け取れない。前例のない困難な工事だけに、さらに膨張する可能性が大きい。大切な血税を浪費するだけで、いつまでも完成を見ないという事態が起こり得る。

政府が土砂の投入を開始したのは18年12月14日だった。だが、県の試算によると、土砂の投入は数%程度にとどまっている。



日本政府は沖縄差別を隠そうとしてもいない。

沖縄の民意を無視して、いつ終わるとも知れず、いくらかかるかも分からない工事に着手し、貴重な自然環境を破壊する。政府の所業は常軌を逸している。とても民主国家の振る舞いとは思えない。

沖縄に対し強硬な態度を取り続ける一方で、米国には常に弱腰だ。米軍の特権を認める日米地位協定の改定さえ言い出すことができない。強い者に媚(こ)び、弱い者には高飛車に出る。そのような国の在りようはいびつであり、一刻も早く改めるべきだ。

新基地に反対する民意は知事選や国政選挙で繰り返し示されてきた。7日投開票の県議選にもそのような県民の意向が反映されている。

政府が新基地建設の根拠にしているのが13年の仲井真弘多知事(当時、14年落選)による埋め立ての承認だ。しかし同氏は10年の知事選では「県外移設を求める」と公約していた。大多数の民意に逆行する決定を盾に、強権を振っているのが現在の安倍政権なのである。

このようなやり方が許されるのなら、許認可権限を持った首長を説得することで、地元の同意なしにどんな迷惑施設でも自在に建設できることになる。沖縄だけでなく全国民に関わる重大な問題だ。

宮古島を

迷彩色に染めないで!



気がつけば
周りは迷彩色だらけに!

宮古島へのミサイル基地配備は、米中戦争準備の一環

宮古島へのミサイル基地配備は島を守るのが目的ではありません。米軍と自衛隊が一体となって中国軍を封じ込めるのが目的です。



中国軍の2,000発のミサイルに、ミサイルで対抗する？

防衛省説明
敵国(中国)からの侵略を抑止するため

真実は
アメリカの対中抑止戦略の一貫
中国を第一列島線内に封じ込めるため
アメリカの国益のため
自衛隊と日本、宮古島は利用される
島民を守る視点はいっさいなし
宮古島を舞台とした
局地戦闘、離島奪還作戦も辞さず？

「宮古島が島嶼防衛の最前線だ」(2019年4月7日の宮古島駐屯地隊旗授与式における岩屋防衛大臣の訓示)

.....沖縄戦のように、今度は宮古島が日本防衛の捨石に？



小銃を持ち迷彩服姿で、市街地(基地の外)での戦闘訓練も行われます(写真は奄美大島)



陸上自衛隊の水陸機動団(日本版海兵隊)の上陸訓練も行われます(陸上自衛隊HPから)



2016年に実施された米軍海兵隊と自衛隊の共同演習「ヤマサクラ」。海兵隊と自衛隊の隊員が、宮古島と八重山の地図を囲んで軍事作戦の演習中。指揮官らしき人物が棒で指すのは、伊良部島の渡口の浜

10月30日 千代田工事始まる
11月19日 千代田、野原公民館で住民説明会
11月20日 住民説明会の翌日に宮古島駐屯地着工式(はじめから建設ありきの説明会!!)
12月3日 3回目の宮古島住民説明会開催
12月10日 保良部落会が弾薬庫反対決議
12月14日 ゲート前早朝行動40名で御嶽に入り視察

2018

1月15日 市長へ市民の声を防衛政務官に伝えるよう2市民団体で緊急要請
1月17日 福田防衛政務官来島市に保良に弾薬庫建設伝達、抗議行動
1月28日 海上保安庁射撃訓練場、保良住民説明会
2月 千代田部落会が公民館や周辺道路整備を条件に陸自配備容認
2月25日 弾薬庫建設 保良部落住民説明会
3月4日 宮古島住民説明会
3月25日 野原部落会が地域振興策など条件に反対決議を撤回
6月2日 基地予定地巡回/スツアー実施 50名満席
9月1日 「大丈夫?宮古島の地下水」講演会・シンポジウム約300名参加
10月28日 七又部落会が弾薬庫反対決議
12月3日 住民連絡会が県庁・県議会へ要請行動・沖縄防衛局へ質問と交渉

12月5日 東京へ防衛省交渉(高江・辺野古・伊江島・宮古・石垣・与那国合同)

2019

3月4日 平良港にて陸自軍用車両陸揚げ阻止行動(早朝から8時間止める!)警察による強制排除
3月26日 宮古警備隊「編成完結式」、抗議行動70名参加
4月1日 「保管庫」実は「弾薬庫」しかもミサイル搬入済を東京新聞一面トップで報道!
4月7日 宮古警備隊「隊旗授与式」抗議行動・防衛大臣に激しく抗議!80名参加
8月26日 沖縄県庁と防衛局要請行動
10月3日 保良公民館で保良、七又地区住民説明会
10月7日 保良弾薬庫工事強行
10月13日 「命の水を守ろう!」講演会・シンポジウムと県庁・防衛局要請行動報告会

2020

3月21日 千代田へミサイル部隊配備抗議の集会と市内デモ行進延べ100名参加
4月5日 ミサイル部隊隊足。宮古地区医師会の自衛隊要請にもかかわらず 式典強行!!

保良 ミサイル弾薬庫



保良集落からきわめて近く、一番近い民家から約200mしか離れていない。万一の際、人々が逃げる時間はない。自衛隊の教科書によれば、ミサイル火災の際は2分で1km以上逃げる必要があると記されている。住民はどうやって避難できるのか?

宮古島に米軍もやつて来る



宮古島への基地建設、ミサイルの設置は

- 戦争できる島をつくられてしまいます。
- 兵器が持ち込まれ、戦争の準備を始めています。
- 攻撃的になり、住民は犠牲になります。
- 前の戦争で、宮古島は封鎖され飢餓の島になりましたが、物資の輸送が止まると同じことが起こります。
- 基地からの有害物質により、地下水汚染の危険性があります。
- ふだんの訓練による事件、事故で、住民生活は不安になります。
- 「島嶼防衛」「奪還」訓練は、実は攻撃の訓練で、島を守る訓練ではありません。
- 自衛隊基地は米軍が共同使用、共同訓練が行われます。
- やがて、米軍もやつて来る心配もあります。

千代田 宮古島駐屯地



弾薬庫もヘリパッドもつくりたいと市長や住民に約束したのに、つくりたてし、防衛大臣が陳謝する事態に発展した。ほかにも活断層や軟弱地盤といった数々の問題が指摘されているにもかかわらず、建設、配備が強行されている。

2015

5月11日 左衛門防衛副大臣来島、ミサイル部隊800名、福山、千代田カントリークラブの配備候補地2カ所示される
6月14日 福山自治会が自衛隊配備反対決議
10月5日 自衛隊ミサイル部隊配備への反対署名16,000余筆を下地敏彦市長へ提出
12月4日 宮古・石垣合同沖縄防衛局交渉

2016

3月 地下水審議会学術部会による「基地建設は地下水へ影響を与える懸念がある」とする報告書に対して、下地敏彦市長が改ざん要求(結局、福山は断念へ)
3月27日 野原部落会が千代田基地反対決議
3月29日 安保法施行に抗議する3万7千人の国会前集会で宮古・石垣連上から訴え
4月5日 防衛省が福山への配備協議書の取り下げ報道
5月22日 命の水を守るシンポジウム 地下水審議会学術委員が部会の結論は「地下水汚染のおそれあり、配備NO」であったと暴露
5月23日 宮古島市役所包囲行動(200名以上参加)
6月11日 「いのちの水を守ろう! 自衛隊配備を止める市民集会」と雷雨の中のデモ行進

6月12日 防衛省・沖縄防衛局による宮古島住民説明会
6月20日 下地敏彦市長、福山却下と、自衛隊配備受け入れ表明
8月2日 千代田部落会が反対決議
8月19日 宮古島市議会総務財政委員会が真栄城議員が「候補地がほかの場所になっても反対運動が起こり、第2、第3の野原部落が出てくる。野原部落には悪いが・・・」と発言
9月2日 若宮防衛副大臣来島し、千代田進めると表明。弾薬庫もヘリパッドもつくりたいと聞いた下地敏彦市長が「安心しました」と発言
9月13日 千代田部落での防衛省説明会が住民の反対で失敗(20日に開催)
10月2日 野原部落での防衛省説明会(計画白紙撤回の垂れ幕)
10月18日 市民対象の2回目説明会
11月20日 自衛隊配備反対! 宮古島平和集会和行進、悪天候の中300名参加

2017

1月22日 宮古島市長選挙、基地反対の奥平氏僅差で敗れる
376 票差
3月13日 沖縄防衛局交渉と県知事・県議会・要請行動(宮古・石垣合同)
8月30日 宮古島城辺に海上保安庁の射撃訓練場整備報道
9月6日 保良の採石場に弾薬庫報道



米軍の新部隊が宮古島などに配備される可能性について報じる新聞記事(琉球新報2020年1月24日)「米メディアは南西諸島が位置する『台湾以東の島々』とフィリピンを配備先の候補に挙げた」

私たちは、なぜミサイル基地建設に反対するのか？

島民の命など
関心もない軍隊

災害救助に役に立つか？
島に持ち込んだのは
武器ばかり

Q 国を守り、島を守る
自衛隊に来てもらえば、
何かあった時に、安心だし、
災害救助にも期待できるし、
なぜ反対するのですか？

住民に寄り添う
どころか、住民監視

住民の人権無視

Q しかし、
国防は国の専権事項なので、
反対しても無駄なのでは？

Q 自衛隊が来てくれれば、
人もお金も増えて
島の経済が発展するのでは？

軍隊や、行き過ぎた開発により、
ご先祖たちが守りついできた、
この島の宝が失われてしまいます。

形だけの説明会

数々の嘘！
自民党(安倍)政権
そのもの！！

あわやコロナ持ち込み！
しかも隠蔽！？
医師会の要請無視して式典強行！

A 自衛隊が守るのは国土や国体(権力)であって、
国民ではありません。国体を守るためなら、国民に銃を向けるこ
ともあります。(歴史的に軍隊とは、そういうものです)

A 基地があることで標的となり、
「何か」を呼び寄せることになります。

A 自衛隊は災害救助の“プロ”ではありません。
宮古島に持ち込んだ装備はミサイルや迫撃砲など
攻撃的なものばかり。
災害救助に期待するのなら、
消防や自治体の防災体制を強化すればいい話です。

A 軍事基地は、騒音や燃料・薬物汚染と
セットと考えた方がいいです。
宮古島の大切な地下水汚染の危険性は、
多くの専門家が心配しています。
(大福牧場は、地下水汚染の心配で取り下げられました)

A そんな規定は憲法にありません。
実際、秋田や佐賀では、住民の反対により
計画撤回や中断に追い込まれています。

A 確かに人もお金も増えますが、
自衛隊なしではやっていけない依存に陥ります。軍事に頼
る“生き方”が、この島の未来にとって良いことでしょうか？



軍事に頼らない
地に着き、落ちついた
持続可能な経済発展をめざそう！

コロナ自粛も何のその
訓練、工事中止せず

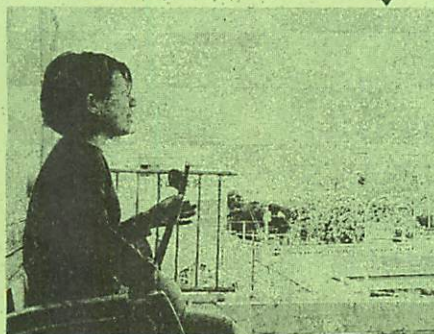
能登の少女に映った沖縄

能登の少女が見た沖縄を描いたドキュメンタリー映画「ちむぐりさ 菜の花の沖縄日記」(平良いずみ監督)が、沖縄戦の犠牲者を悼む「慰霊の日」の二十三日に合わせて期間限定でネット配信される。三月下旬に東京で公開されたが新型コロナウイルスの感染拡大で中断されていた。平良さんは「コロナ禍の今こそ響くものもある。沖縄の痛みを考えるきっかけにしてほしい」と話している。

那覇市のフリースクール「珊瑚舎スコーレ」に在学中、故郷の北陸中日新聞でコラムをつづっていた石川県珠洲市の坂本菜の花さん(三〇)に、沖縄テレビキャスターの平良さんが密着したテレビ番組を再編集した作品。番組で追ったのは二〇一八年春の卒業までだったが、映画はその夏の翁長雄志知事の急逝や、

23日「慰霊の日」ネット配信

三線を弾く菜の花さん＝「ちむぐりさ 菜の花の沖縄日記」より (©沖縄テレビ放送)



辺野古新基地建設の是非を問う一九九二年二月の県民投票の場面も追加した。

東京を皮切りに今春から全国で上映が予定されていたが、コロナ禍が映画界を直撃した。都知事による休業要請を受け、本作も三月二十八日の公開初日から土日の休業を余儀なくされる。緊急事態宣言を受け平日のみの上映も中断された。

現在、七月以降に大阪などの六劇場で公開が決まった

が、予定している他の八劇場はまだだめどが立っていない。「せめて慰霊の日に多くのの人に見てもらいたい」との平良さんの思いを受け、ネットでの限定配信が決まった。

配給元の太秦によると、ネット配信は二十一〜二十三日に実施。一回千八百円で二十四時間視聴できる。鑑賞料金は上映を予定していた映画館十四館に分配するしくみ。作品の公式サイトから視聴できる。

沖縄では、コロナ禍で中断されていた辺野古新基地工事が六月十二日に再開された。平良さんは「コロナの時代だからこそ、菜の花さんが示す共感力の重みは増している」と先行配信を歓迎。「沖縄を離れても、ずっと沖縄に心を寄せてくれる菜の花さんの思いや言葉は、沖縄の人々に勇気を与える。映画を通してぜひ辺野古の問題にも目を向けてほしい」と話している。

(中山洋子)

東京新聞

2020年(令和2年)6月19日(金曜日)

新型コロナの給付金をめぐり

新型コロナに関する日本政府の医療面、経済面の失策は私たちにしわ寄せされていることは言うまでもないのですが、琉球列島の石垣島や宮古島では不要不急の弾薬庫建設工事が続けられています。

さて、今回の要件としては政府から支給される一人 10 万円について、多少なりとも余裕のある方には、沖縄にかかわる運動にカンパをしてもらいたいと考えたからです。あくまでも任意のカンパです。

以下、私たちが紹介したい運動と振り込み先を紹介します。

辺野古基金 沖縄県労働金庫 県庁出張所 953-3406481
琉球銀行 県庁出張所 251-185920
沖縄銀行 県庁出張所 012-1292772
沖縄海邦銀行 県庁内出張所 102-0082175
ゆうちょ銀行(電信) 17000-13659411
ゆうちょ銀行(払込取扱票) 01790-5-128966
コザ信用金庫 那覇支店 017-2032531
沖縄県農業協同組合本店 780-0024403
みずほ銀行 那覇支店 693-1855733

高江・刑特法 昨年 12 月 21 日、6 人の市民が「正当な理由なく米軍北部訓練所に侵入した。」として刑特法違反容疑で現行犯逮捕されました。いったんは釈放になりましたが、今年の 2 月逮捕された 6 人を逮捕または任意の取り調べ、再度釈放となっていますが、捜査はいまだに継続中のため、弁護士費用等が必要です。

高江・機動隊派遣愛知訴訟 ニュース前号で報告しました通り、愛知県警が高江の「警備」に機動隊を派遣したことに対して愛知県民が愛知県知事を訴えた事件、1 月名古屋地裁で市民の敗訴判決が出たため名古屋高裁での戦いが進められています。

「高江刑特法」と「高江・機動隊派遣」に関しては沖縄を語る会で取り扱いますので、同封の振込用紙をお使いください。ただし「どの運動に 円」と明記していただくことが必須です。語る会の取り扱い締め切りは 7 月 10 日とさせていただきます。

2020 年 6 月 19 日

静岡・沖縄を語る会 事務局

別件ですが、語る会の会計年度を 4 月なので、次年度からは振込用紙の同封を 4 月と 6 月のみとします。